

野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会  
令和7年度第3回専門部会（医療的ケア児者支援部会）  
次 第

日 時 令和8年3月10日（火）  
午後1時30分から  
会 場 野田市役所8階大会議室

1 開 会

2 議 題

- （1）令和7年度医療的ケア児等コーディネーター連携会議について
- （2）その他

3 閉 会

## 令和7年度 医療的ケア児等コーディネーター連携会議について

日時：令和8年2月20日（金）

会場：千葉県庁中庁舎10階大会議室

## 1 千葉県医療的ケア児等支援センター 実践報告・調査結果報告

## ● 通学支援モデル事業について

特別支援学校に在籍するスクールバスへの乗車が困難な医療的ケア児について、保護者の代わりに看護師等が福祉タクシー等に同乗して送迎支援を行うもの。今年度はモデル校のみでの実施だったが、来年度から県内すべての特別支援学校が対象となる予定。訪問看護、タクシーの手配は保護者が行う必要がある。

## 2 千葉市の取り組み

## ● 短期入所について

短期入所を利用したくても漠然とした不安や予約の取りにくさから利用できない・していないという現状がアンケートからわかった。看護師を配置すればよいというものではなく、緊急時の柔軟な受け入れ体制や医ケア児者の特性への理解が求められている。

## 3 柏市の取り組み

## ● 柏市の医ケア児者等の実数 369名（令和5年度アンケート調査結果）

## ● 日中一時支援事業への医ケア加算創設

近隣に医ケア児者の受け入れ可能な社会資源が不足

→レスパイトの受け皿として日中一時支援の活用を検討。

市と協議し、看護師が医療的ケアを行った場合の加算を創設。

## ● 令和7年度から日常生活用具の種目に「非常用電源」を追加

## 4 長生地域の取り組み

## ● 長生地域の医ケア児者等の実数 86名（令和5年）

## ● 入浴問題について

生活介護事業所や居宅介護事業所が少なく、入浴の支援が受けにくい状況にある→訪問入浴の回数を増やせないか協議

## 5 鴨川市の取り組み

- 鴨川市の医ケア児者等の実数 7名（令和7年）  
※7名とも相談支援専門員、福祉サービス介入済み
- 事例紹介（小児科から成人診療科への移行、医ケア児の通学）

## 6 流山市の取り組み

- 医ケア児者のための電源確保策
  - 在宅：日常生活用具として蓄電池・発電機の給付
  - 可動式：公用電気自動車・外部給電器の導入
  - 集合式：大型ポータブル蓄電池の配置（福祉避難所）
- 避難所体験訓練で見つかった課題等について
  - 医療機器の消費電力が大きく、ポータブル電源1つでは短時間しか利用できない。コンセントも多く使用。
  - 衛生管理（おむつ等の処分）
  - 冷所保存が必要な薬剤の保管
  - 民生委員との交流が当事者の安心につながる
- 医ケア児保護者交流会について  
話せる場がほしいとの保護者の声から開催。レクリエーションや交流タイム、情報共有を行った。好評により次年度は3回開催予定。

## 7 佐倉市の取り組み

- 避難訓練の様子を紹介

野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会  
令和7年度第3回専門部会（医療的ケア児者支援部会）

